

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年6月8日 (2017.6.8)

【公表番号】特表2017-500900(P2017-500900A)

【公表日】平成29年1月12日 (2017.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-002

【出願番号】特願2016-523914(P2016-523914)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/1473 (2006.01)

A 6 1 B 5/1486 (2006.01)

G 0 6 F 1/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 1 0 2 A

A 6 1 B 5/14 3 3 1

A 6 1 B 5/14 3 4 0

A 6 1 B 5/00 N

G 0 6 F 1/32 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月24日 (2017.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

赤外線送信機を有する携帯医療検査機器（10）とともに使用するための通信インターフェース装置（30）であって、

エンクロージャ（35）を提供し、前記医療検査機器（10）のハウジングに取り外し可能に結合するように構成される取付部材（31）であって、前記医療検査機器（10）の背面側を実質的に覆う、取付部材（31）と、

前記エンクロージャ（35）内に存在し、前記医療検査機器（10）の前記赤外線送信機（27）から第1の通信プロトコルに従ってデータを無線で受信するように構成される赤外線受信機（61）であって、前記取付部材（31）が前記医療検査機器（10）に結合されるとき、前記赤外線受信機（61）の入力ポートが前記医療検査機器（10）内の前記赤外線送信機（27）の出力ポートと整列する、赤外線受信機（61）と、

前記エンクロージャ（35）内に存在し、第2の通信プロトコルに従ってデータを無線で送信するように構成される二次的なトランシーバ（63）であって、前記第1の通信プロトコルは前記第2の通信プロトコルとは異なる、二次的なトランシーバ（63）と、

前記エンクロージャ（35）内に存在し、低電力モード（151）で動作するコントローラ（62）であって、前記コントローラ（62）は、前記低電力モード（151）から通常モード（152）に定期的に移行するように構成され、前記通常モード（152）において前記赤外線受信機（61）と相互作用して前記医療検査機器（10）からのデータを受信し、前記通信インターフェース装置（30）は、前記低電力モード（151）におけるよりも前記通常モード（152）においてより多くの電力を消費する、コントローラ（62）と、

前記エンクロージャ（35）内に存在し、前記コントローラ（62）とインターフェー

スされる電源（６６）と

を備える、通信インターフェース装置（３０）。

【請求項２】

前記取付部材（３１）は、上端（３２）、下端（３３）、及び前記上端（３２）と前記下端（３３）との間で平面本体に沿って延在する２つの対向する側端（３４）を規定し、２つのクリップ部（４１）を含み、各クリップ部（４１）は、前記取付部材（３１）の対向する側端（３４）から外方に延在し、前記医療検査機器（１０）の外側表面にクリップするように構成される、請求項１に記載の通信インターフェース装置（３０）。

【請求項３】

前記取付部材（３１）は、前記取付部材（３１）の上端（３２）から外方に延在する突出部（４８）をさらに含み、前記取付部材（３１）が前記医療検査機器（１０）に結合されると前記医療検査機器（１０）の上面の一部を覆い、前記突出部（４８）は前記赤外線受信機（６１）を包み、前記赤外線受信機（６１）の前記入力ポートは前記医療検査機器（１０）の前記上面に向く、請求項２に記載の通信インターフェース装置（３０）。

【請求項４】

前記取付部材（３１）の前記平面本体は、前記平面本体の前記上端（３２）と前記下端（３３）との間に延在する長手方向軸（３９）を規定し、前記平面本体は、前記取付部材（３１）が前記医療検査機器（１０）に結合される間、前記取付部材（３１）が置かれる水平面と前記長手方向軸（３９）が平行であるように成形される、請求項２又は３に記載の通信インターフェース装置（３０）。

【請求項５】

前記赤外線受信機（６１）及び前記二次的なトランシーバ（６３）は、前記低電力モード（１５１）において電源を切られ、前記通常モード（１５２）において電源を入れられる請求項１から４のいずれか１項に記載の通信インターフェース装置（３０）。

【請求項６】

請求項１から５のいずれか１項に記載の通信インターフェース装置（３０）と、赤外線送信機を有する携帯医療検査機器（１０）とを備えるシステム。

【請求項７】

前記医療検査機器（１０）のハウジングは、互いに結合される上部シェル（１３Ａ）及び下部シェル（１３Ｂ）によって形成され、前記上部シェル（１３Ａ）の端が前記下部シェル（１３Ｂ）の端に対して当接して溝（４３）を形成し、前記通信インターフェース装置（３０）の前記取付部材（３１）の各クリップ部（４１）は、前記取付部材（３１）が前記医療検査機器（１０）に結合されたときにさね継ぎを形成するように前記溝（４３）内に受容される凸部（４２）を含む、請求項６に記載のシステム。

【請求項８】

医療検査機器（１０）とインターフェースするためのキットであって、

請求項１から５のいずれか１項に記載の通信インターフェース装置（３０）又は請求項６もしくは７に記載のシステムと、

ＡＣ電源に接続し、前記通信インターフェース装置（３０）の前記二次的なトランシーバ（６３）とデータを無線で通信するように構成される通信ハブ（１４０）とを備えるキット。

【請求項９】

前記通信インターフェース装置（３０）は、低電力モード（１５１）で動作し、前記低電力モード（１５１）から前記低電力モード（１５１）よりも多くの電力を消費する通常モード（１５２）へ定期的に移行し、前記通常モード（１５２）に移行すると、前記コントローラ（６２）は前記赤外線受信機（６１）と相互作用して前記医療検査機器（１０）に問い合わせを行い、

前記医療検査機器（１０）からの前記問い合わせに対する応答の受信に失敗すると、前記通信インターフェース装置（３０）は前記低電力モード（１５１）に移行して戻り、

前記医療検査機器（１０）からの前記問い合わせに対する応答を受信すると、前記コントローラ（６２）は前記赤外線受信機（６１）と相互作用して前記医療検査機器（１０）に検査結果の要求を送信する、請求項８に記載のキット。

【請求項 １０】

前記医療検査機器（１０）から検査結果を受信することに応答して、前記コントローラ（６２）は前記二次的なトランシーバ（６３）と相互作用して前記通信ハブ（１４０）に前記検査結果を送信する、請求項９に記載のキット。